わたしのお家新聞

2026年8月
も岩小学校3年
黒川 さわ

わたしのお家は、今年の7月にかんせいしました。

土地とハウスメーカーえらび

2025年の6月から毎日調べて、9月にどちらとも決定。

お母さんに聞いた
土地のじょうけん

①つぼ数
土地が小さすぎると、自分たちがつくりたい家をたてられない。

②公きょうの交通手だんが有るか？
交通のべんがよいところがいい。

③家の近くにお店が有るか？
歩いて行けるスーパーが有るとうれしい。

いい土地はすぐに売れてしまうけど、「土地はえん」と言われているように人との出会いににています。

お父さんに聞いた
ハウスメーカーの
じゅうししたところ

①たいしんせい
地しんに強い家がいい。

②だんねつせい
夏はすずしくて、冬はあたたかい家がいい。

③間どりの自由ど
自分たちがくらしやすいつくりにしたい。

たいしんせい

たいしんせい……たて物などが地しんにたえられるせいのうのこと。

1981年より前　「きゅうたいしんきじゅん」のたて物は、くずれやすい。

↓

たいしんとうきゅう1
×住みつづけられない
「新たいしんきじゅん」どう入
けんちくきじゅんほうのさいていきじゅん

↓

たいしんとうきゅう2
○住みつづけられる
けんちくきじゅんほうの1.25倍のたいしんせい
〈学校やびょういんなど〉

↓

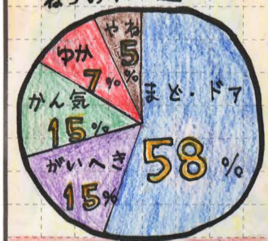
たいしんとうきゅう3
◎住みつづけられる
けんちくきじゅんほうの1.5倍のたいしんせい
〈しょうぼうしょやけいさつしょなど〉

日本では、1981年にどう入された「新たいしんきじゅん」がき本となり、しんど6強~7の大きな地しんでも、たおれないたて物がもとめられています。

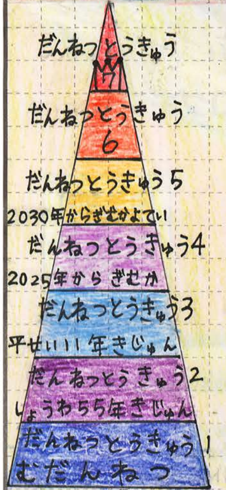
だんねつせい

だんねつせい……ねつのい動をおさえるせいのうのこと。

ねつのにげ道



だんねつせいの高い家とは、外のあつさやさむさが室内につたわりにくく、室内のかいてきな空気を外ににがさない家です。冬にだんぼうのねつが1番にげる場所は、まどとドアです。そのため、さい近の家は、まどをつけすぎない家が多いです。



高だんねつの大きなメリット

1 けんこうにくらせる

家の中の温どさが小さくなるため、きゅうげきなけつあつへん動による「心きんこうそく」や「のうそっ中」などのリスクがへります。けつろやカビ、ダニの発生がおさえられるため、「アトピー」や「びえん」などの有びょうりつが下がります。

2 れいだんぼうひのせつやく

かいてきな室温をたもてるため、電気やガスの使用りょうがへり、光ねつひをおさえられます。

地球にやさしいエネルギー

日本の電気のやく70%は、ねんりょうをもやす「火力発電でつくられていますが、火力発電はCO₂が出るため、「地球温だん化」の原いんになっています。海外からのゆ入にたよっているねんりょうも、使いつづけるといつかなくなってしまいます。

風や水など、自ぜんかいのものをり用する「さい生かのうエネルギー」はCO₂も出ないので、ふやしていくことが目ひょうにされています。

お家ができるまで

3/19

白のだんねつざいと木のわくの間にコンクリートをながす。

→

3/27

コンクリートがかたまって家をささえるきそになっていく。

↓

4/1

鉄きんを組んでじょうぶなきそにする。

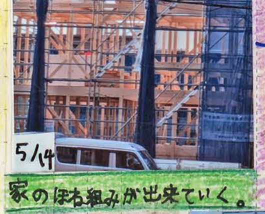
4/3

ながしたコンクリートがかたまり、きそがかんせいしていく。

4/9

大工さんの足場ができた

↓


5/14

家のほね組みが出来ていく。

→

5/16

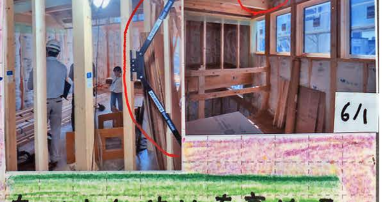
家の中にも使うたく山のだんねつざい

→

5/28

まどがついたよ

↓


6/1

たいしんせいを高めるしくみ発見!!

←

6/29

外がわにもかべがついたよ

←

7/9

家になったよ

あとがき

たいしんせいとだんねつせいの大切さが分かりました。大工さんの仕事を調べてみて、長い時間をかけて、たく山の作業をしていると知り、びっくりしました。

大人になるまで住む家なので、家ぞくで大事にしていきたいです。